



アドビシステムズ株式会社
141-0032 品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー 19F

アドビ、IoT（モノのインターネット）端末に マーケティングインテリジェンスを提供

Adobe Marketing Cloud がデジタル体験を実世界に拡張、
新しい IoT SDK により、新たなタッチポイントでも
パーソナライズされたエクスペリエンスを実現

※当資料は、2015 年 3 月 10 日に弊社米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳です。

【2015 年 3 月 11 日】

米国ユタ州ソルトレイクシティ発（2015 年 3 月 10 日）Adobe（Nasdaq：ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、アドビが米国で開催している年次デジタルマーケティングカンファレンス「Adobe Summit 2015」において、小売店やホテルの部屋、自動販売機、IoT（モノのインターネット）機器といった実世界においても、高度にパーソナライズされた体験を提供できる新ソリューションを発表しました。新しい IoT SDK により、企業はさまざまな機器を通じて、消費者とのエンゲージメントを測定、分析することができるようになります。これを推進するのが、マーケティング部門の媒介する、企業のデジタル変革です。これまでサイロ型だったマーケティングデータは、営業やカスタマーサービスなどの他部門によって収集されたデータとともに使用され、顧客に対するより深い理解を可能にします。

アドビのデジタルマーケティング事業部門担当シニアバイスプレジデントのブラッドレンチャー（Brad Rencher）は、「マーケティングは既存のデジタルチャネルの枠を超えて、実世界における新しい物理的な体験を含むようになります。Adobe Marketing Cloud は、企業がオンラインのマーケティングデータを活用し、小売、エンターテインメント、旅行、レジャー体験における、これまでにないパーソナライゼーションを実現できるよう支援します」と述べています。

マーケティングは実世界へ

顧客をより適切に理解することが可能になったことで、デジタル体験が買い物の仕方、ホテルの部屋のドアの開け方、車との関わり方、自動販売機での飲み物の購入方法までも変えようとしています。アドビは本日、マーケターによるこうした新しい機会の最大活用を支援する新ソリューションと機能を公開しました。

Adobe Experience Manager Screens

新ソリューションの [Adobe Experience Manager Screens](#) により、マーケターは、小売店、ホテル、さらには自動販売機のようなデバイスといった物理的な空間にも、画像、3D インタラクティブモデル、動画などのインタラクティブコンテンツ体験を拡張できるようになります。多彩なスクリーンに対応した単一のオーサリング UI は、コンテンツをモバイルアプリやブランド体験と常に結びつけ、Web 全体にわたる一貫性を維持します。マルチタッチ対応により、等身大のタッチスクリーンからモバイルアプリまで、コンテンツを思いのままに移動させることが可能です。[Adobe Creative Cloud とのシームレスな接続](#)に

より、マーケターは、さまざまなアセットを保管、アクセス、使用することができます。

Intelligent Location 機能

モバイル技術の進化は、企業に店舗内での購入体験を改善し、ROIを最大化する機会を提供します。Adobe Marketing Cloudの新しいIntelligent Location機能は、企業がGPSやiBeaconデータを活用することで、実世界におけるブランドのプレゼンスの最適化を可能にします。iBeaconデータの視覚化により、企業は小売店、スポーツスタジアム、空港、ホテル、美術館内でのトラフィックパターンや顧客エンゲージメントを可視化することができます。マーケターは、一日を通じた滞在時間、iBeaconなどと連動したプッシュ通知やアプリ内メッセージによる顧客インタラクションを確認、測定することが可能です。データの可視化により、店内レイアウトを変更し、ROIを最大化する商品ディスプレイに最適化することができますようになります。

IoTデバイスおよびウェアラブル端末でのパーソナライズされた体験

Adobe Marketing Cloudを活用することで、マーケターはIoTデバイスやウェアラブル端末にもリーチできるようになります。[Adobe Target](#)はWebブラウザやアプリの枠を超えて、どのようなIoTデバイスでもデジタルコンテンツのテスト、最適化、パーソナライゼーションに対応させることができます。企業は、ATM、ガソリンスタンドの給油画面、ゲーム機、車のダッシュボード画面、電化製品といった日常生活におけるタッチポイントにおいて、顧客の個人的な興味に基づいてコンテンツ提供を行うために、Adobe Targetを活用できます。Adobe Targetは、CRMや第三者ソースなどの予測的な匿名データを活用することで、リアルタイムでコンテンツをパーソナライズします。また、Mobile Core ServicesおよびAdobe Analyticsにより、マーケターはMobile SDKの拡張機能である新しいIoT SDKを活用し、IoTデバイスでのコンテンツおよびアプリ内の顧客エンゲージメントを測定、分析することができます。

顧客からのコメント

Starwood Hotels and Resorts WorldwideのCRMおよびチャネルインテリジェンス担当バイスプレジデントであるクリスノートン（Chris Norton）氏は、「Starwoodはハイテク技術および人間的な触れ合いをうまく組み合わせることで、顧客のホテル体験を変革させています。会員がスマートフォンでホテルのドアの解錠し、直接入室できるSPG Keylessから、ホテル内を探索し、個々にパーソナライズされたコンテンツやプロモーションを受け取るデジタル体験まで、当社は分析と技術を活用し、宿泊客が長年感じていた不便さを解消しています。Adobe Marketing Cloudはそうした改革の中で、非常に重要な役割を担っています」と述べています。

Under Armourのプロダクトインテグレーション担当シニアバイスプレジデントのジョディジャイルズ（Jody Giles）氏は、「AEM Screensはアパレルのデザイン手法やディスプレイ方法を再定義しています。物理的な展示の代わりに、記録的な早さで豊富なデジタルデザインおよび体験を創出し、それらを当社のカタログアプリにも展開しています。店頭でこの技術を使用し、等身大のタッチスクリーンでブランドと関わっている顧客を目にしています。」

IDCのコンテンツおよびデジタルメディアテクノロジー部門担当プログラムバイスプレジデントであるメリッサウェブスター（Melissa Webster）氏は、「リーディングブランドの期待とニーズに応じてお客様に効果的にリーチするために、デジタルマーケティングの取り組みは急速な発展を続けています。今日、オンラインで体験を提供するだけでは不十分です。企業は、実世界へとマーケティング活動を拡張し、増え続ける接点において顧客と直接繋がる必要があります。また、企業には、この改革を主導し、マーケティングの未来を定義できるベンダーが必要です」と述べています。

Adobe Marketing Cloud について

Adobe Marketing Cloud は、様々なデバイスとデジタルタッチポイントを通じてマーケティングコンテンツの高度なパーソナライゼーションを実現することでビッグデータを駆使し、顧客と見込み客への効果的なリーチとエンゲージメントを支援します。緊密に統合された 8 つのソリューションにより、分析、Web/アプリのエクスペリエンス管理、テスト/ターゲティング、広告、動画、オーディエンス管理、ソーシャルエンゲージメント、キャンペーン編成に重点を置いた、包括的なマーケティングテクノロジーをマーケターに提供します。また、Adobe Creative Cloud との連携機能により、あらゆるマーケティングチャンネルにおいて、クリエイティブアセットを容易に活用できます。Adobe Marketing Cloud は、Fortune 50 企業の 2/3 をはじめ、世界中の多くの企業に採用されており、そのトランザクション処理件数は年間 30 兆 4,000 億件以上に上ります。

アドビシステムズ社について

アドビは、世界を動かすデジタル体験を提供します。

アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、[Web サイト](#)に掲載されています。

Adobe and the Adobe logo and Adobe Marketing Cloud, Adobe Experience Manager, Adobe Target, and Adobe Analytics are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

© 2015 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. All other trademarks are the property of their respective owners.